



MAINICHI



毎 日 新 聞

1月20日(水)

2010年(平成22年)

発行所: 東京都千代田区一ツ橋1-1-1

〒100-8051 電話(03)3212-0321

毎日新聞東京本社

震災後の神戸や中国・四川で撮影

子供たち 希望の笑顔

渋谷の広場 シートに印刷



JICA地球ひろばの外壁を埋める子供たちの笑顔

渋谷区広尾の「JICA地球ひろば」が世界の子供たちの笑顔で埋め尽くされている。

アートディレクターの水谷孝次さん(58)が、「笑顔は世界共通のコミュニケーション」をテーマに行っている「Merry」プロジェクト。

ロジエクトの一環。地球ひろばの改修工事のために外壁を覆うメッシュのシート(高さ約5m、幅約38m)に、震災後の神戸やインドネシア・アチエ、中国・四川などで撮影した42人の子供たちの笑顔をプリント。夜はライトアップされている。

水谷さんは99年からこのプロジェクトに取り組む、25カ国約3万人の子供たちの笑顔を撮り続け、イベントなどを通じて発表。08年の北京五輪開会式では、約1600本の傘にプリントされて披露された。

昨年11月には、被災から5年を迎えたアチエ州で開催。津波で海岸から約3kmの内陸に押し上げられ、被災地のシンボルともなった巨大な発電船(約2600t)の周囲で、笑顔がプリントされた傘約100本を開き、「絶望の船を希望の船に」と呼び掛けた。12月26日の追悼式典でも、この傘が使われた。

水谷さんは「子どもたちの笑顔は未来の希望。『災害を乗り越えて笑顔になろう。笑顔の輪を広げて平和になろう』というメッセージを込めた」と話す。

シートは、工事が終了する3月まで設置予定。

【小泉大士】